



経営管理委員会会長
神農 佳人



代表理事理事長
鈴木 輝

ごあいさつ

平素より私ども長野県信用農業協同組合連合会をお引き立ていただき誠にありがとうございます。

当会は、昭和23年の設立以来、皆さまのご愛顧、ご支援をいただくなか、相互扶助精神のもと、農業専門金融機関として県下ＪＡと一体となり長野県農業の発展と農家経済の向上を金融面から支援させていただくとともに、地域金融機関として地域社会、経済の持続的発展に貢献すべく歩んでまいりました。

令和7年度は、米国の通商政策の変化や地政学リスクの高まりにより、国内外の政治・経済情勢の不確実性が一段と増し、物価上昇や金融市場の変動を通じて企業や家計に影響を及ぼしました。また、日本銀行による金融政策の見直しが進み、「金利ある世界」が定着するなか、金融機関には資金調達基盤の安定確保やリスク管理の高度化が求められています。さらに、農業分野では、改正食料・農業・農村基本法に基づく基本計画のもと、食料安全保障の確保や持続可能な農業の実現に向けた取り組みが進む一方、担い手不足や農業所得の確保が引き続き重要な課題となっています。

こうした環境のもと、ＪＡグループがめざす「食と農を基軸として地域に根ざした協同組合」としての使命を果たすべく、引き続き総力を挙げて取り組んでまいります。

そのために当会では、中期計画（2025年度-2027年度）において、長野県ＪＡバンクの県域機能を担う金融機関として、ＪＡ・組合員・地域の皆さまの多様なニーズに向き合い、その信頼と期待にお応えしていくことを経営方針として掲げております。今後も、役職員一人ひとりがステークホルダーの皆さまとの丁寧な対話を重ね、柔軟かつ創意工夫に富んだ提案を通じて、地域と農業の持続的な発展に貢献してまいります。

私どもの経営理念「いのちを育む農業を基本に据え、安全安心な生活環境・地域づくりを限りなく支援します」を実現すべく、事業機能の絶えざる革新や財務内容の健全・充実化に総力を結集し、会員、地域の皆さまに貢献する地域金融機関として鋭意活動してまいりますので、今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

この度、当会の経営方針、業務内容、近年の業績等について皆さまにご紹介するため、ディスクロージャー誌「長野県信連の現況2026」を作成いたしました。特に財務諸表については、当会の活動結果をご確認いただくうえで極めて重要な情報であることを認識し、信頼性確保に努めております。本誌により当会に対するご理解を一層深めていただければ幸いに存じます。

令和8年7月

経営管理委員会会長 神農 佳人
代表理事理事長 鈴木 輝